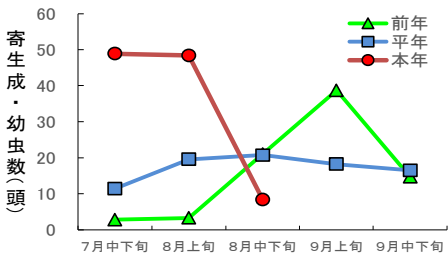
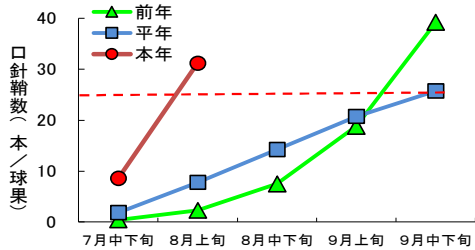


R8年 ヒノキ球果における果樹カメムシ類の寄生状況及びヒノキ球果の口針鞘数の推移



第1図 ヒノキ球果における果樹カメムシ類寄生数



第2図 果樹カメムシ類によるヒノキ球果の口針鞘数の推移

※赤色の破線は果樹カメムシ類がヒノキ球果から離脱するとされる25本/果を示す
※令和8年は、8月上旬にヒノキ球果からの離脱の目安となる25本を超えたため以降の調査は実施していない。

表1 ヒノキ球果における果樹カメムシ類寄生数及び口針鞘数

No.	調査地点	ヒノキ球果における 寄生状況 ¹⁾									ヒノキ球果 ²⁾ 着果程度	口針鞘数 ³⁾⁴⁾		
		7月下旬			8月上旬			8月下旬				7月 下旬	8月 上旬	8月 中下旬
		成虫	幼虫	合計	成虫	幼虫	合計	成虫	幼虫	合計				
1	上 峰 町 堤	-	-	-	-	-	-	—	—	-	極少	-	-	-
2	神 埼 市 脊 振 町 倉 谷	-	-	-	-	-	-	—	—	-	極少	-	-	-
3	小 城 市 三 日 月 町 織 島	4	21	25	8	8	16	1	1	2	中	12.5	32.3	-
4	唐 津 市 佐 志	5	18	23	9	2	11	3	0	3	やや少	2.9	23.0	22.9
5	唐 津 市 浜 玉 町 平 原	-	-	-	-	-	-	—	—	-	極少	-	-	-
6	唐 津 市 北 波 多 成 淵	103	1	104	13	21	34	11	0	11	中	2.9	28.6	-
7	伊 万 里 市 大 川 町 川 西	29	61	90	20	22	42	1	0	1	やや少	4.8	26.0	-
8	伊 万 里 市 南 波 多 町 谷 口	35	32	67	4	3	7	8	0	8	中	11.6	26.1	-
9	伊 万 里 市 南 波 多 町 笠 椎	33	12	45	3	18	-	0	0	0	中	8.0	25.9	-
10	多 久 市 南 多 久 町	17	5	22	8	70	78	3	5	8	やや少	2.3	34.7	-
11	鹿 島 市 飯 田	21	14	35	18	42	60	4	3	7	やや少	5.4	59.4	-
12	鹿 島 市 音 成	10	45	55	32	2	34	2	2	4	やや多	39.8	-	-
13	太 良 町 江 岡	35	15	50	36	117	153	8	15	23	多	3.0	31.3	-
14	太 良 町 大 浦	18	4	22	25	24	49	17	8	25	多	1.8	24.3	27.1
	平 均	28.2	20.7	48.9	16.0	29.9	48.4	5.3	3.1	8.4	-	8.6	31.2	-
	平 年	-	-	11.5	-	-	19.6	-	-	20.7	-	1.9	7.8	14.3
	前年(R7年)	-	-	2.8	-	-	3.3	-	-	21.0	-	0.4	2.3	7.5

1)ピーティングによる調査

2)ヒノキ球果着果程度：福岡農総試の達観調査法に基づいて調査

・極少：一部の木では上部にも球果が見られるが、多くの木では上部にも球果がない。

・少：球果が全くない木も見られるが、多くの木の上部には球果がある

・やや少：球果が全くない木も見られるが、多くの木の上部には球果があり、一部の木では中央部にもみられる

・中：中央部まで球果が見られる木が多い

・やや多：多くの木では中央部までたくさんの球果が見られ、一部は下部にも球果がある

・多：下部まで球果が見られる木が多い

・極多：ほとんどの木で下部までたくさんの球果が見られる

3)口針鞘数が1果当たり25本を超えるとヒノキ球果が餌として不適となりカメムシがヒノキ球果より離脱する傾向がある

4)口針鞘数が25本を超えた地点は、次回口針鞘数調査を省略した

※ヒノキ球果における寄生虫数、口針鞘数は地域等で差が大きいので、各地点の調査結果が必ずしも当該地域全体の状況を示すものではない。